

2月2日(火曜日)  
ドル/円

## ISM製造業を好感して買われる

### 1日(月)の主な推移

NYダウ平均

10,185.53  
(+118.20)

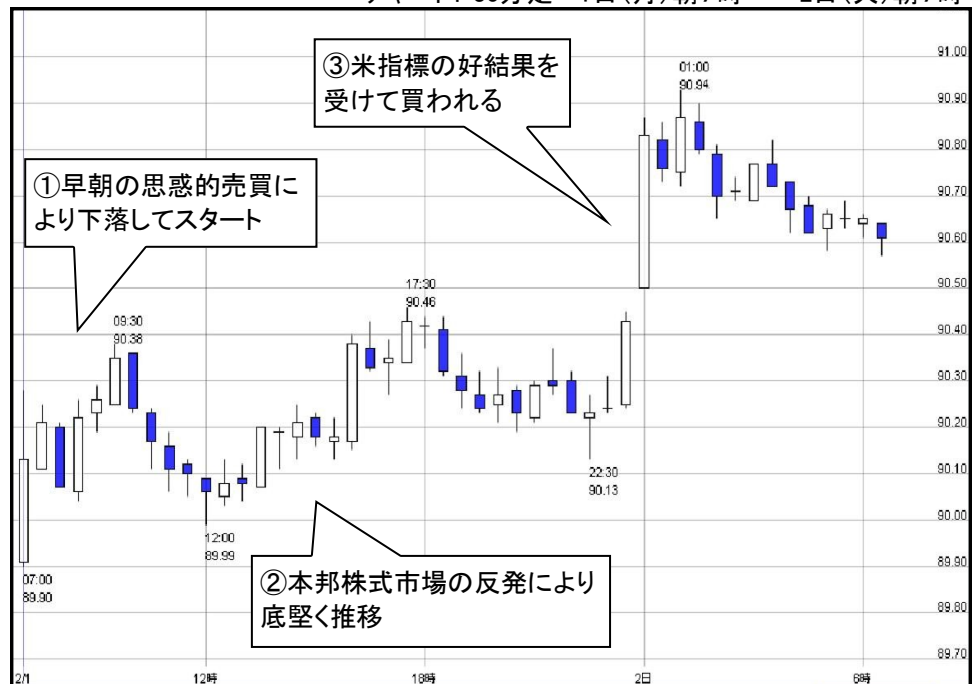
米長期金利  
(10年債利回り)

3.6560%  
(+0.0139)

NY原油先物

74.43  
(+1.54)

チャート: 30分足 1日(月)朝7時 ~ 2日(火)朝7時



※チャートは30分足 日本時間にて表示 ※左表は終値ベース、( )は前日比  
出所:外為どっとコム

- ① 前週末に英タイムズ紙が英金融サービス機構(FSA)のターナー長官の「キャリートレードは無価値」との発言を手がかりにした早朝の仕掛け的な売買により円キャリートレードの巻き戻しが起こり、オープン時よりドル/円をはじめとしてクロス円も円高でスタートし、ドル/円は一時は89.90円まで円高が進行した。
- ② 朝方の円買いについて追加的な材料も乏しく、本邦株式市場が反発しプラス圏に浮上したことで、ドル/円は底堅く推移した。
- ③ 米1月ISM製造業景況指数が市場予想を上回り、2004年8月以来の高水準となったことで市場では景気回復に楽観的なムードが漂ったことでドル/円は買いが先行し、発表前の90.40円レベルから90.90円レベルまで約50銭の上昇となった。

### 上昇要因(ドル高・円安)

- ・米経済の回復
- ・米長期金利の上昇
- ・米国の超低金利政策の長期化観測の後退
- ・日本の政局の混迷
- ・金融市場全体のドル売りムードの緩和
- ・日銀の追加資金供給
- ・日本の財政赤字への懸念

### 下落要因(ドル安・円高)

- ・米金融規制案への懸念
- ・米国の超低金利政策の長期化観測
- ・米長期金利の下落
- ・米経済の回復の鈍化
- ・外貨準備通貨としてのドル需要の減退
- ・米財政赤字悪化懸念の高まり
- ・金融市場全体のドル売りムードの高まり

### 本日の見通し

本日の予想レンジ: 90.10-91.20円

1日は1月ISM製造業景況指数が市場予想を上回り、2004年8月以来の高水準となったことで、市場では景気回復に楽観的な見通しが広がり、米ダウ平均やドル/円に買いが集まった。今週末に発表を控えている米雇用統計に向けて、市場は景気回復の見通しについて楽観的なムードを維持できるのかがポイントになりそうである。

テクニカル的には89円台で短期的な底打ちの可能性が出ているものの、2営業日連続で90.90円レベルにて頭を押さえられており、このレベルを引けで越えてゆけるかが雇用統計前の分岐点かと見られる。

それ以外では本日12:30に豪中銀理事会が予定されており、利上げを見込む声が大半ではあるものの、一部では金利据え置きの見通しも出ており、仮に金利が据え置かれた場合は波乱の展開となる可能性がある。その場合は豪ドル/円の下落に伴う円全面高の展開には気を付けたい。

### 本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 時間は「日本時間」

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表数値	市場予想
2/2(火)	24:00	○	(米) 12月中古住宅販売保留 [前月比]	-16.0%	+1.0%
		◎	ボルガー米経済再生諮問会議議長の議会証言		

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、※予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2010 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com